

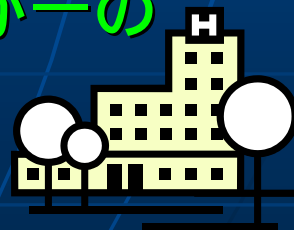
在宅療養中の健康管理システム

在宅療養中でも、自分ではつい健康管理を怠ってしまったり、忘れてしまうことがある。

いつ何が起こるのか判らないので、患者本人も家族も不安である。

ちょっとしたことで通院するのは時間も費用の面でも患者の負担になる。

このシステムは、在宅療養中や老人の一人暮らしの家と病院をIPv6で繋ぎ、健康管理をしたり、万が一のときにいつでも対応できるようにするものです。



- 血圧計や体重計、ピルケースにセンサーをつけ病院と繋いで、薬の飲み忘れを防いだり、健康状態を管理する。



- 病院のナースコールのような機能を携帯につけて、在宅中だけでなく、外出時の緊急事態にも対応できるようにする。救急車で運ばれる際も、かかり付けの病院から患者の情報がすぐに知れるので処置しやすい。



- テレビ画面で専門医から直接指示を受けられたり、問診表に答えて病院側に送信すると、24時間自動的に健康状態がチェック出来る。



- その人に合った食事のレシピを配信したり、その日患者が摂った食事を報告することによって、的確な注意が通院しなくても受けられる。

